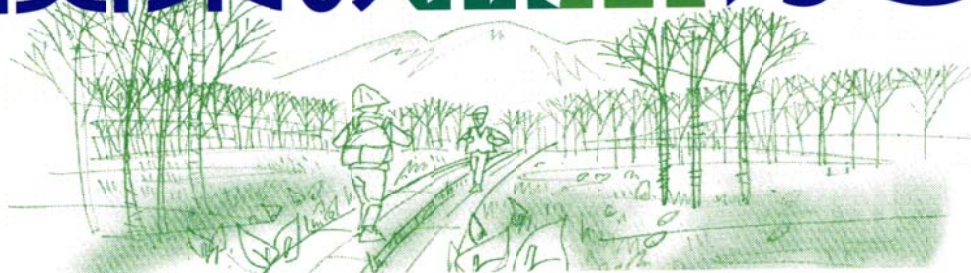


平成23年7月1日

第88号

関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25

TEL.027-210-1158

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/>



どっしりとした山容が印象的な越後駒ヶ岳（新潟県南魚沼市・魚沼市）
（提供者：魚沼市商工観光課）

小笠原の価値を後世に残すために

計画部 計画課

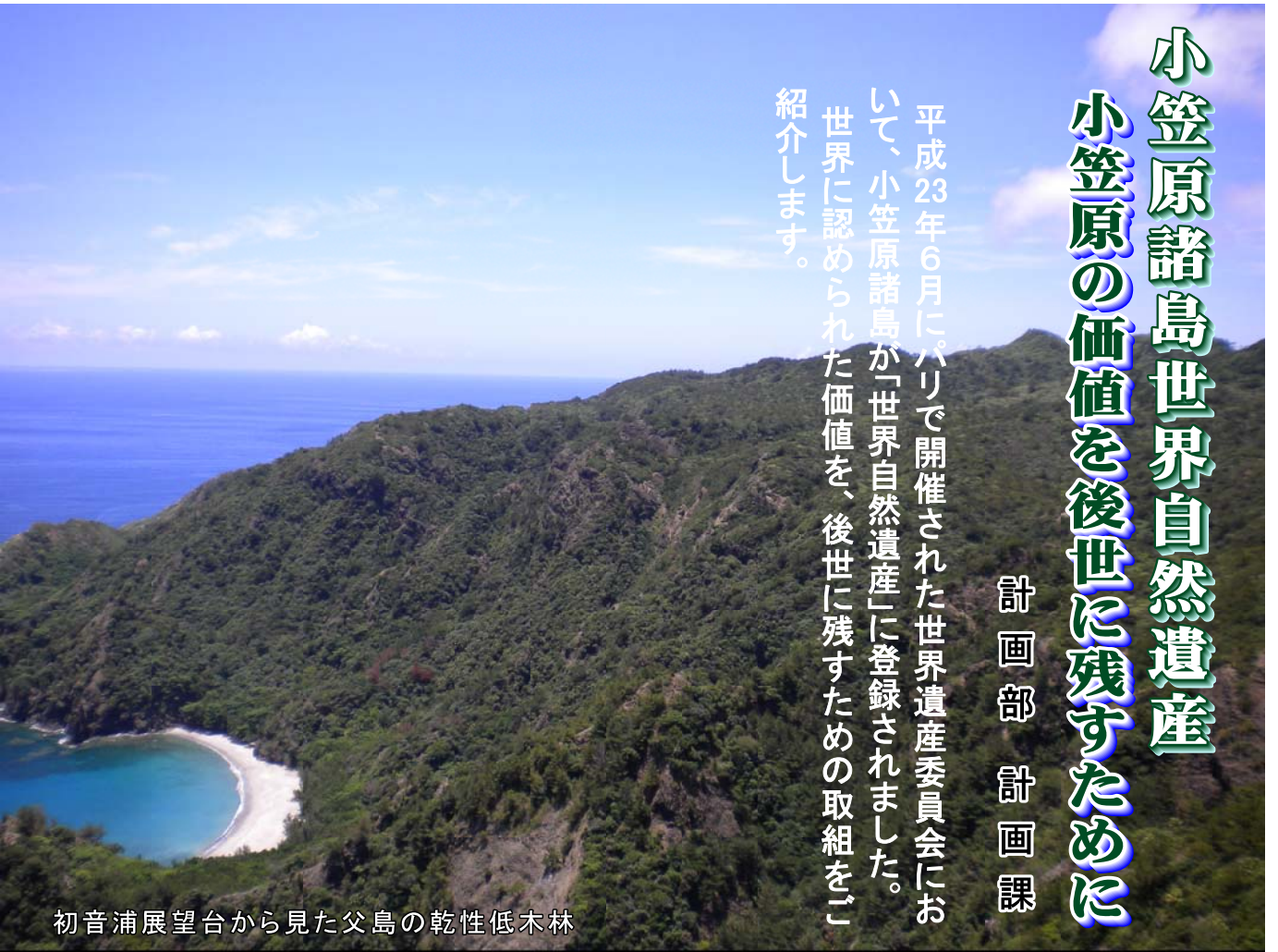
私と国有林 「身近な財産」

福島県 南会津町立南郷第一小学校

教諭 星 徹 氏



2011・国際森林年



初音浦展望台から見た父島の乾性低木林

小笠原諸島世界自然遺産 小笠原の価値を後世に残すために

計画部 計画課

平成23年6月にパリで開催された世界遺産委員会において、小笠原諸島が「世界自然遺産」に登録されました。世界に認められた価値を、後世に残すための取組をご紹介します。

小笠原諸島の 世界自然遺産としての価値

小笠原諸島は、東京から約1,000km南方の海上に、南北400kmにわたって散在する大小30余りの島々で、沖縄諸島等とは異なり、かつて一度も大陸と陸続きになったことがない海洋島です。

四方を海で囲まれた南海の孤島に生物が辿り着くためには3つのWという方法しかありませんでした。1つ目のWは、「WIND」の風、2つ目は「WAVE」の波、3つ目は「WING」のつばさ(鳥)です。これらによって運ばれ、偶然に辿り着き、環境に適応した種だけが生き残ることができたのです。

小笠原諸島に辿り着いた祖先種は、隔離された環境下で、様々な進化をとげて多くの種に分化しました。起源を同一にする生物群が、生息環境の違いにより生理的・形態的な分化を起こして多系統に分かれることを「適応放散」と言います。世界遺産委員会の諮問機関であるIUCN(国際自然保護連合)が、小笠原諸島における陸産貝類と維管束植物について、この適応放散の証拠が多いことと固有率が高いことの両方が、類い希であると評価しており、世界自然遺産の4つの登録基準のうち、「ix(生態系)」に合致するのとこのことです。

価値を保全するための取組

小笠原諸島の世界自然遺産の区域は、IUCN保護区カテゴリーのIaに区分される「森林生態系保護地域保存地区」及びIbの「原生自然環境保全地域」並びにIIの「国立公園の特別保護地区若しくは第1種特別地域」のいずれかに属しており、厳格な保護を担保しています。

一方で、小笠原諸島には、砂糖製造の燃料とするために持ち込んだアカギなどの外来植物や、1830年にハワイから移住した人々が食料用に持ち込んだノヤギなどの外来動物が、既に、多数生息・生育しています。スポーツに例えれば、小笠原の固有種はアマチュアで外来種はプロのようなもので圧倒的に強く、固有種は競争に負け駆逐されてしまいません。このため、世界遺産の推薦国としては初めて、外来種対策のアクションプランを付して推薦しており、管理機関は適切な役割分担のもと連携し、対策を講じています。

関東森林管理局の取組と使命

世界自然遺産登録地の陸域の約8割は、関東森林管理局が管理する森林生態系保護地域です。

関東森林管理局では、アクションプラン等に基づき、貴重な固有種が多く生息・生育する母島の「湿性高

母島の湿性高木林



母島の乳房山から見た石門

固有種(陸産貝類)



カタマイマイの半化石

オガサワラオカモノアラガイ

母島の林内の様子



固有種: シマホルトノキ

広分布種: アカテツ

兄島の乾性低木林



外来植物の駆除



アカギ稚幼樹の抜き取り作業

外来植物の駆除



モクマオウの伐倒作業

木林」に侵入したアカギや父島、兄島の「乾性低木林」に侵入したモクマオウなどを平成22年までに約150鉢で駆除しました。また、小笠原諸島に生育する侵略的外来植物を把握するために、最新の空中写真を解析し、外来植物分布図を作成しました。

外来植物は伐採しても萌芽したり、埋土種子が数年間生存して発芽したり、駆除後に別の外来種が侵入するなど、一筋縄ではいかないのが、順応的かつ継続して取り組む必要があります。また、固有森林生態系を修復することが目的であるため、生態系になるべく負荷をかけずに戦略的な駆除を行う必要があります。これらのことから、今年度は島毎、地域毎に優先順位を決め、具体的な修復の進め方を定める中長期計画を作成

します。また、観光客等の森林生態系保護地域への立入りが脆弱な生態系に影響を与える恐れがあるため、立入りは指定されたルートに限定するなど「利用ルール」を平成20年9月に導入し、生態系の保護と人の利用との調整を図っています。

1978年、ガラパゴス諸島は第1号の世界自然遺産になりました。小笠原諸島は、海洋島における貴重な生態系であることから「東洋のガラパゴス諸島」と呼ばれています。自家のガラパゴス諸島は、遺産登録後の観光客の増加や外来種の繁茂等により2007年には一度危機遺産になっており、海洋島における生態系保全の難しさを物語っています。IUCNは、今回の評価報告書においても、遺産価値を脅かす侵略的な外来種対策の継続や登録後の利用者増大による影響の管理等を勧告しています。

林野庁は、環境省、文化庁とともに小笠原諸島世界自然遺産登録の共同推薦省庁であり、関東森林管理局は、管理機関として、生態系の保全・管理を適切かつ円滑に行う使命があります。脆弱な生態系に出来る限り影響を与えないように、人知を尽くして手強い外来種を駆除し、固有の生態系を後世に残すため取り組んでいます。



赤谷プロジェクトの軌跡
第2回（プロジェクトの仕組）

第2回は、赤谷プロジェクトの仕組や主な取組についてご紹介します。赤谷プロジェクトは、利根沼田森林管理署管内の群馬県北部に位置する国有林に、「生物多様性の復元と持続的地域づくり」を目標としたモデルプロジェクトを展開しています。対象とする地域は、約1万ha（山手線内側の約1.6倍の面積）あり、

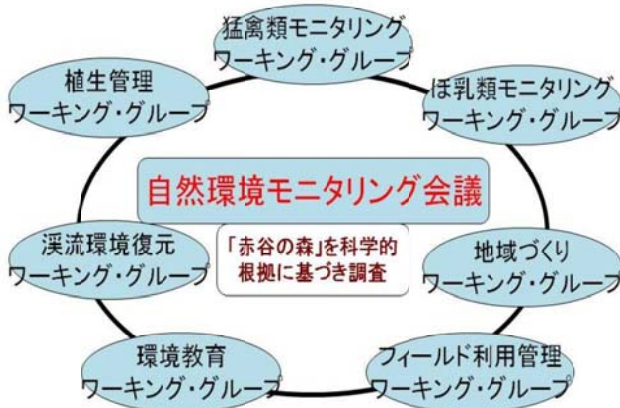


旧新治村（合併後みなかみ町）の大部分を含み、地域に居住する人たちの生活圏が含まれています。

赤谷プロジェクトでは、植生、溪流、猛禽類など、各分野ごとに研究者を含めた7つのワーキンググループ（WG）を組織し、基礎データ収集、課題の抽出を行い、科学的根拠を基に検証を進めることとしています。

検証結果については、全体を統括する自然環境モニタリング会議に諮り、赤谷の森全体のあるべき姿を総合的に検討しています。各WGの委員として積極的に参加している研究者にとって、赤谷プロジェクトは研究成果が直接国有林の

モニタリングの枠組み



管理経営に活かされる点、また、各WGの情報共有により、様々な角度から研究を評価できる点（例えば、森林施業による哺乳類の行動変化、それに伴う地域への影響等）において、研究フィールドとして利点が多いようです。

主な取組の紹介（自然林回復試験）

赤谷プロジェクトでは、自然の回復力を活かし人工林を自然林（自然の力のみで成立した森林）へ誘導すること目的に、人工林をどのように伐採すると効率的に自然林に戻りやすいかを検証する試験を行っています。

ひとつは間伐（畑で言うところの間引き）を列状に行う場合、間伐する幅ほどの程度が望ましいかを検討するため、試験地を設け7年間モニタリングを行いました。また、皆伐する場合も帯状に20m、30m、40mと伐採幅の異なる試験地を設定し、皆伐した跡地にどのような植物が進入してくるかを検討する皆伐試験地を設け、5年間に渡りモニタリングを行いました。現段階での結果としては、間伐、皆伐共に伐採幅が狭い試験地は比較的暗く草本類の成長が抑えられるため、自然発生した若木の発芽・成長が良好でしたが、近年試験地周辺の木の成長により光環境が悪化し、若

自然林回復試験



試験地の様子

木の生長が阻害されつつあります。伐採幅の広い試験地では、依然光環境が保たれ若木が良好に成長を続けています。

このことから、伐採後数年で伐採幅の広い方が自然木の進入に有利となる可能性が示唆されています。

また、既存の人工林内の植物を調査したところ、自然林への誘導のしやすさは、種子を供給できる自然林からの距離と、人工林になる前の土地の利用状況（自然林、人工林又は採草地）が強く作用することもわかってきています。

第3回目も引き続き、プロジェクトの主な取組についてご紹介いたします。

私と国有林
身近な財産

福島県 南会津町立南郷第一小学校 教諭 星 徹

南郷第一小学校のシンボル！それは尾瀬学習！といっても過言ではありません。

尾瀬学習は、5年生を対象に燧ヶ岳を一望しながら尾瀬を散策する一泊二日の旅です。

1日目は沼山峠をスタートして、尾瀬沼を経由し、尾瀬ヶ原にある山小屋へ一泊。2日目は平滑の滝や三条の滝を体感してきます。2日かけて20^{キロ}ほど歩くことは、今の子どもたちにとってなかなか経験できない



三条の滝に感動する子どもたち



樹木の説明を受ける子どもたち

ことです。一見大変そうに見えますが、豊かな自然に触れながらのハイキングで爽やかな気持ちになったり、歩き通したことで充実感が湧いたり、子どもたちの心の中に深く刻み込まれているようです。

実は、この尾瀬学習を楽しみにしているのは、子どもたちよりもその親御さん達かも知れません。毎年、尾瀬学習のサポートをお願いしていますが、年々ご協力してくださる人数が増えています。こうした背景を考えると尾瀬学習の魅力がどれほど

のものかがお分かりいただけると思います。また、ありがたいことに、毎年、会津森林管理署南会津支署から2名ほど森の案内役としてお手伝いいただいています。樹木や湿原、草花の説明など、お忙しい中ご協力いただいていることに感謝いたしております。子どもたちが地元の方々と身近に触れる機会があることもうれしいことです。

この尾瀬学習で、子どもたちは身近にある豊かな自然という財産に改めて気づきます。地元の人間としてこの豊かな自然を守っていくために何をすべきか、一泊二日で体験したことを糧に考えてもらいたいと願っています。

もう一つ、豊かな森という財産を感じる活動に森林学習があります。昨年度、南会津支署の方々と子どもたちが南会津の国有林へ行き、森林の役割や土壌の仕組みなどについて具体的な実験を通して学習しました。



土により水が浄化される実験



森に堆積した土の様子

この学習を通して子どもたちが一番驚いたことは、日本の木材はあまり使われず余っているということです。家を建てるにも、日本産の木材は価格が高く、需要が低いとのことでした。世界では必要以上の森林伐採、環境破壊により砂漠化が深刻になっていることを学習したばかり。森林と上手につきあつていくことの難しさに直面し、たくさんの方々のことを考えさせられた学習でした。

今、子どもたちに必要なことは、実際に自分で体感させるといふことだと思えます。今後も森林管理署の方々に協力いただきながら、この身近にある財産を子どもたちに感じ取ってもらいたいと切に願うところです。

森づきの最前線

日光森林管理署 日光森林事務所 首席森林官 益子 紀之



大谷川から日光表連山を望む



日光市民に大切に守られる太郎モミ

私の勤務している日光森林事務所は、栃木県の北西部に位置する日光市のうち、旧日光市の東部4,200畝の国有林を管理しています。

当事務所管内には、平成11年に世界文化遺産に登録された日光東照宮や日光山輪王寺等の建造物があり、それらを囲むように、日光表連山（西端から男体山、大真名子山、小真名子山、女峰山、東端の赤薙山）が連なり、その区域のほとんどは日光国立公園に指定されています。

日光東照宮の北東に位置する小倉山国有林には、小倉山森林公園があり、スケートやアイスホッケー等のスポーツ活動などに利用されているほか、修学旅行の野外活動や森林環境教育などにも利用され、多くの国民の皆様にご利用されています。

この周辺の森林は、スギ、ヒノキ、アカマツなどの針葉樹のほか、コナラなどの広葉樹が混在しており、多くの野鳥が集まることから、平成16年に日本野鳥の会栃木県支部と協定を締結し「小倉山野鳥の森」を設定しました。

この森を利用して、毎年「森林と野鳥に親しむつどい」を開催し、野鳥観察会や木工教室を行っています。

小倉山を訪れた人々を楽しませてくれるのは、野鳥のさえずりのほか、堂々たる風格で目を引く、樹高30㍍の大木「太郎モミ」です。平成12年「森の巨人たち百選」に認定され、3年後には日光市指定文化財として、日光市民の方々により大切に保護されています。

また、平成20年度には、「間伐モデル林」を設定し、列状間伐による林内植生への影響を調査しています。間伐箇所の林内を継続的に一定方向から写真撮影をするなどの方法により状況を確認してきたところ、下層植生の繁茂が見られるなど、列状間伐の効果が現れてきたところです。

しかし、今年は春になっても植生が見られず、近年この地域でも増加しているシカ食害による影響ではないかと思われ、景観や環境への影響を考慮して、シカ食害防止柵の設置を試験的に実施することとしています。

赴任して10ヶ月余りですが、観光に訪れた方から「歩道の案内板が分かりにくい」との苦情や、地元からは、「裏の国有林が崩れた」などの相談にも応じています。海外から観光に訪れる人が多い当事務所管内の特徴も踏まえて、国際森林年の趣旨を理解していただきながら、日本のテーマである「森を歩く」を一人でも多くの方に楽しんでいただけるよう、PRに取り組んでいきたいと思っております。



『小倉山野鳥の森』間伐モデル林



森林と野鳥に親しむつどいの木工教室

えちごこまがたけ
管内の百名山「越後駒ヶ岳」



しおりとうげ
枝折峠付近の紅葉



百薬ノ池周辺に咲くハクサンコザクラ

越後駒ヶ岳の東側一帯は、ブナ、ミズナラなどの原生的な天然林が広がっており、中越森林管理署では、平成13年に、この自然豊かな越後駒ヶ岳周辺の国有林を、野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促すことなどを目的に「緑の回廊越後線」の一部として指定し、動植物の保護等に努めています。

是非、大パノラマが展望できる越後駒ヶ岳を堪能してみてください。きっと何度でもチャレンジしたくなる山の一つになると思います。

(中越森林管理署 広報広聴連絡官)

平成21年にNHK大河ドラマ「天地人」の舞台にもなった新潟県の「八海山」は、越後三山又は魚沼三山（八海山・越後駒ヶ岳・中ノ岳）と呼ばれる山群の一つですが、今回紹介する「越後駒ヶ岳」は、その八海山から中ノ岳を経た東方約5㎞に位置する標高2,003㍍の山です。

越後駒ヶ岳は、山容のすばらしさと豊富な高山植物で人気があり、登山者も多い山です。

登山ルートで一般的なのは、新潟県魚沼市の枝折峠から明神尾根を経て山頂に至るコースで、このほかに秘湯駒ノ湯から小倉山を経由するコースも人気があります。

枝折峠から越後駒ヶ岳山頂までは、登りで5時間程ですが、中間地点の小倉山（標高1,378㍍）に着くと、眺望が開けて周辺の山々が見渡たせます。ここからは緩やかな登りが続き、しばらくすると「百薬ノ池」があり、この池の周りに咲き誇るハクサンコザクラなど数々の高山植物は登山者の疲れを癒してくれます。

頂上の手前には駒ノ小屋があるので、1泊しての登山も人気で、越後三山を縦走するためには必須の宿泊地点となります。ここまで来ると頂上は目の前です。苦労して辿り着いた頂上からは、中越地方の山々や魚沼平野などの大パノラマが楽しめます。



標高2,003㍍の山頂(後方には八海山)

参加者募集

第4回「秩父山地縁の回廊等」における樹木保護ネットの設置

樹木保護ネットの設置

秩父山地は景観に優れ希少な野生動植物が生息・生育するなど、豊かな森林生態系が保全・維持された地域です。

近年、シカなどの野生動物による樹木の被害が拡大傾向にあることから、その対策として、樹木への保護ネット設置等のボランティアを募集します。

実施日 平成23年8月7日(日)

実施時間 (午前5時30分～午後6時)

場所 埼玉県秩父市大滝

(笠取山周辺)

集合場所 秩父市役所

実施内容 シカ等の食害から樹木を保護するネットの運搬・取付

募集人員 先着26名

募集期間 平成23年7月15日(金)から

平成23年7月29日(金)

お申し込み・お問い合わせ先

〒368-0005 埼玉県秩父市大野原491-1

埼玉森林管理事務所

担当者 北野・戸村までお電話により

お申し込みください。

電話番号(0494)23-11260

https://www.rinpa.naff.go.jp/kanto/saitama/index.html



国民の森林・国有林

■ ■ 編 発
行 所
集 所
総 関
務 東
課 森
局 林
管
理
局

F T
A E
X L
(0 (0
2 2
7 7
))
2 2
1 1
0 0
・ ・
1 1
1 1
5 5
9 8